

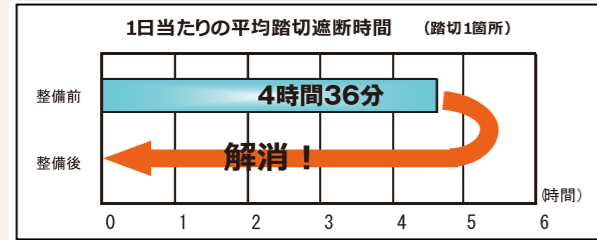
連続立体交差事業の効果

効果その1 踏切による事故や渋滞がゼロになります。

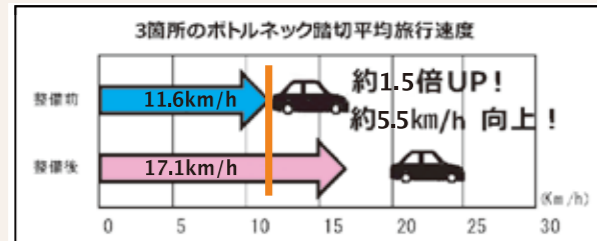
本事業により合計12箇所の踏切が除却され、踏切による事故がなくなり交通渋滞が解消します。消防・救急活動の迅速化が図られるなど、安全・安心のまちづくりに寄与します。



渋滞状況(県道千葉鎌ヶ谷松戸線踏切付近)



※出典：千葉県県土整備公共事業評価 (H30)



※出典：千葉県県土整備公共事業評価 (H30)
※3箇所のボトルネック踏切は北初富1号・新鎌ヶ谷2号・初富1号踏切 (H30時点)

効果その2 利便性の向上と魅力あるまちづくりのために役立ちます。

まちの分断が解消されるとともに、新しい駅舎や関連側道・駅周辺整備、高架下の利用などにより、地域の生活環境や利便性が向上します。



関連側道の整備(上記写真は他事業箇所の整備事例のため本事業箇所とは異なります。)



事業の経緯

平成11年 2月	都市計画決定
平成14年 2月	事業等説明会
平成14年 3月	都市計画事業認可 事業着手
平成14年 7月	工事説明会
平成14年 7月	仮線工事着手
平成16年 2月	新鎌ヶ谷地区仮線切替
平成26年 2月	北初富地区仮線切替
平成26年 5月	初富地区仮線切替 全線仮線切替完了
平成29年 10月	下り線(津田沼方)高架化
令和元年 6月	新鎌ヶ谷高架駅舎供用開始
令和元年 12月	上り線(松戸方)高架化 初富・北初富高架駅舎供用開始
令和2年度～ 令和6年度	関連側道整備予定
令和6年度	事業完了予定

位置図



本連続立体交差事業は、道路整備の一環として、千葉県が事業主体となり実施する都市計画事業です。

連絡先

千葉県県土整備部道路整備課	TEL 043-223-3189
千葉県柏土木事務所	TEL 04-7167-1218
鎌ヶ谷市都市建設部道路河川整備課	TEL 047-445-1435
新京成電鉄株式会社 鉄道事業本部鉄道施設部連立事業課	TEL 047-389-9985

Ver.4(R2.3月)

鎌ヶ谷都市計画都市高速鉄道事業第2号線

新京成線連続立体交差事業

鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間



千葉県
鎌ヶ谷市
新京成電鉄株式会社

事業のあらまし

千葉県、鎌ヶ谷市、新京成電鉄(株)では、平成13年度から新京成線の鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間の連続立体交差事業を行っています。

本事業は、新京成線の初富駅南側約800m付近から北初富駅西側の北総線交差点付近までの延長約3.3kmを連続的に高架化するものです。

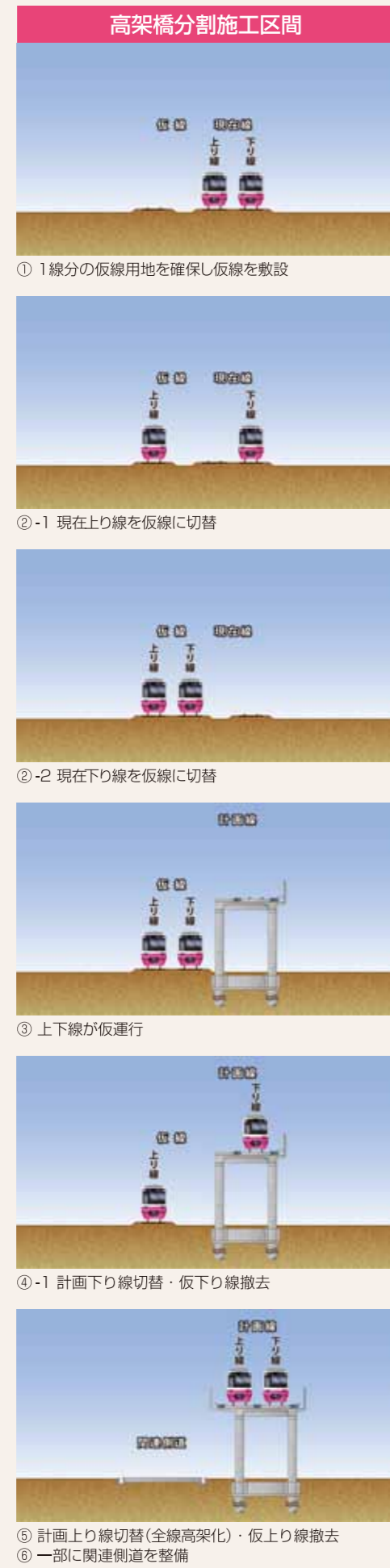
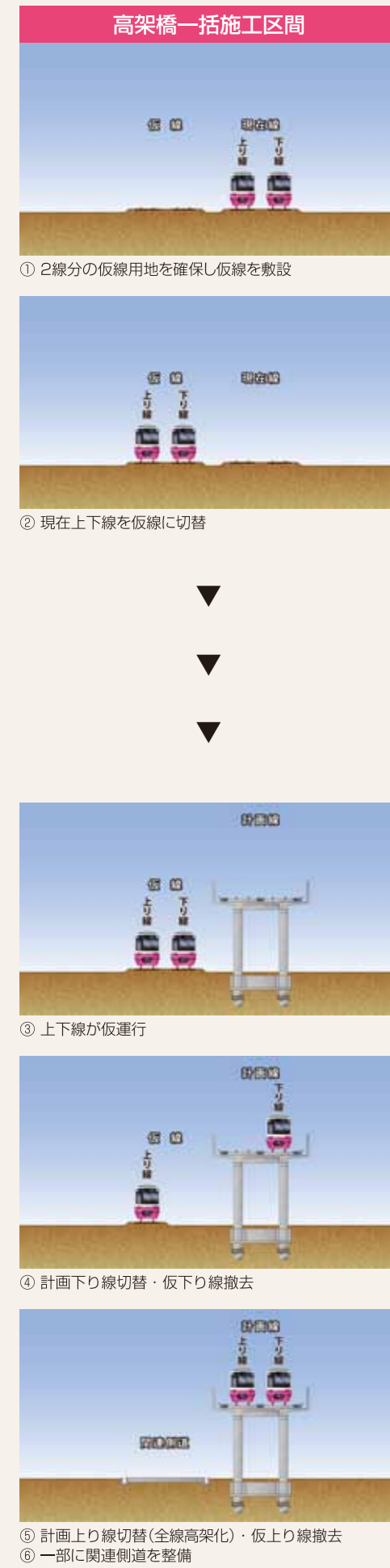
本事業が完了しますと、国道464号や県道千葉鎌ヶ谷松戸線など合計12箇所の踏切が除却され、踏切による交通渋滞が解消し踏切事故もなくなるとともに、消防・救急活動の迅速化が図られます。

さらに、鉄道により分断されていた地域が一体化され、関連側道や駅周辺整備の事業計画とあわせて、魅力あるまちづくりに大きく役立つものと期待されます。

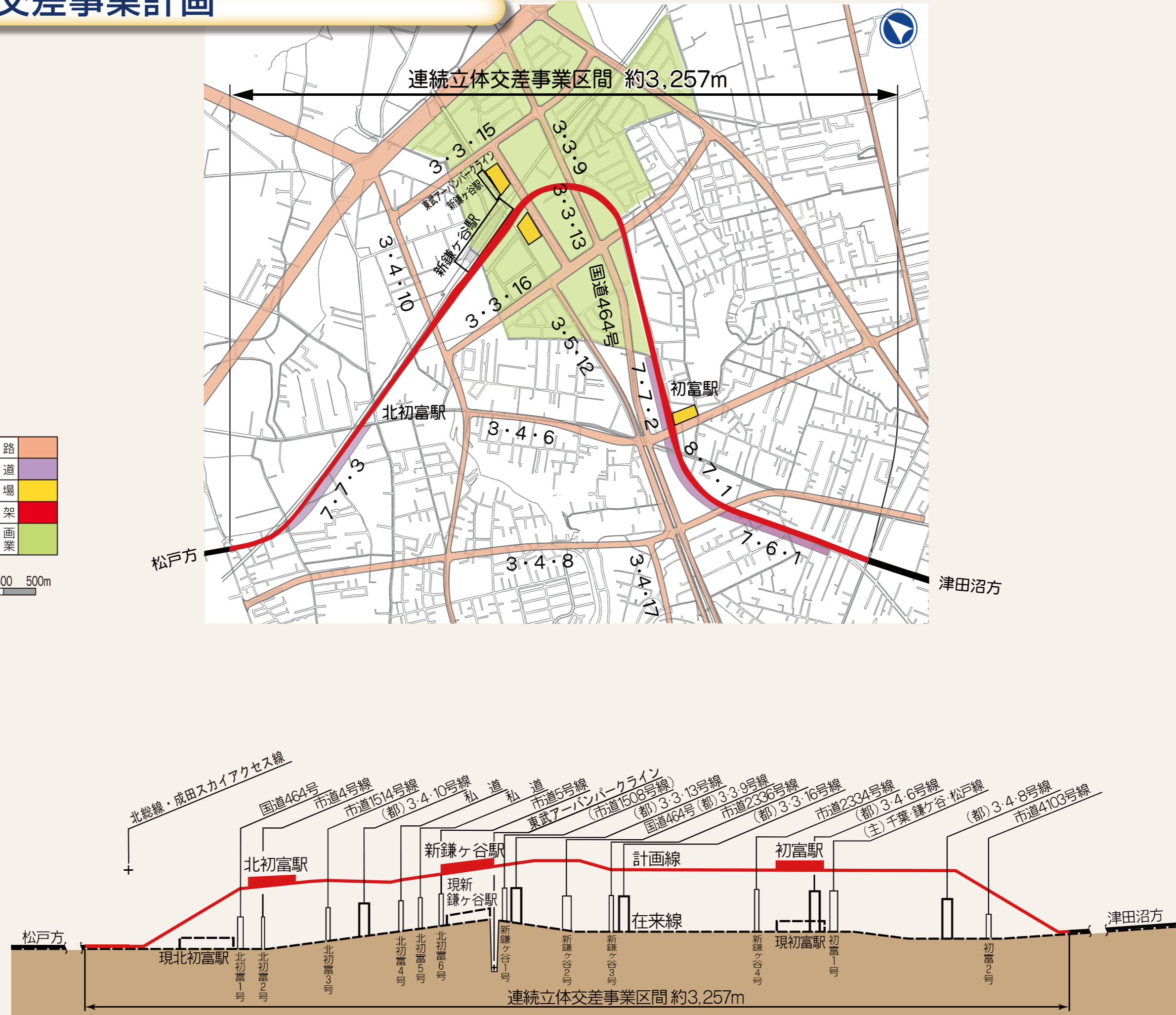
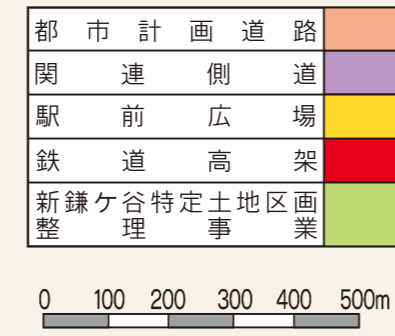
事業の概要

都市計画決定	平成11年2月19日
事業認可	平成14年3月4日
事業区間及び延長	起点 鎌ヶ谷市南初富六丁目 終点 鎌ヶ谷市北中沢一丁目 区間 鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間 延長 約3,257m
関連側道	4路線 7-6-1 富岡1号線 幅員10m 延長約380m 7-7-2 初富線 幅員6m 延長約240m 7-7-3 北初富線 幅員6m 延長約400m 8-7-1 富岡2号線 幅員6m 延長約300m
除去踏切	12箇所
立体交差する道路	16箇所(15路線) うち国道1路線および 都市計画道路6路線
駅計画	初富駅 島式ホーム 新鎌ヶ谷駅 島式ホーム 北初富駅 相対式ホーム
事業予定期間	平成13年度～令和6年度
概算事業費	約528億円

連続立体交差事業の流れ



連続立体交差事業計画



高架橋標準図と現在の工事状況

